

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

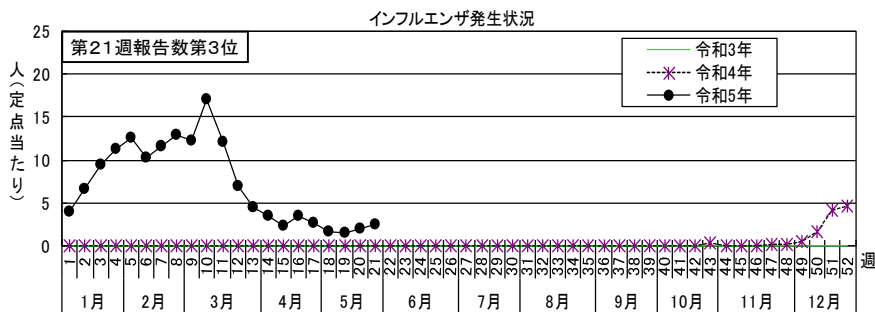
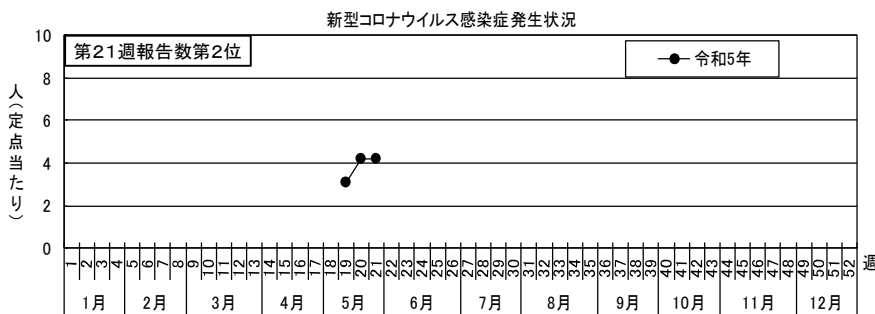
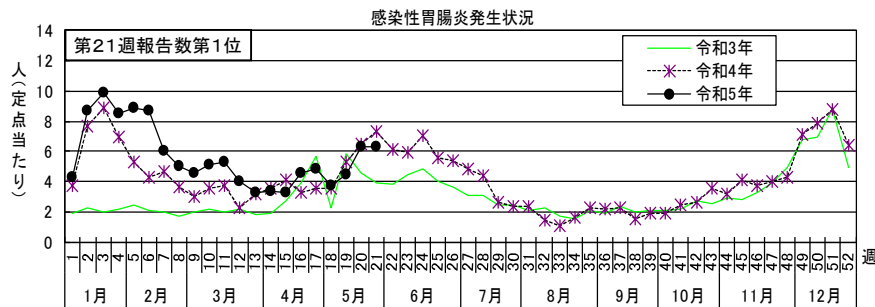
令和5年5月22日（月）～令和5年5月28日（日）〔令和5年第21週〕の感染症発生状況

第21週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）感染性胃腸炎 2）新型コロナウイルス感染症 3）インフルエンザでした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.32人と前週（6.30人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は4.18人と前週（4.20人）から横ばいでした。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は2.49人と前週（1.98人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



気を付けたい感染症～手足口病・ヘルパンギーナ～

手足口病やヘルパンギーナはエンテロウイルス属のウイルス等を原因とする感染症で、夏季に乳幼児を中心に流行します。新型コロナウイルス感染症の流行が始まった令和2年以降は報告数が大幅に減少していましたが、令和3年の秋頃から再び増え始め、令和4年は夏季に流行がみられました。特に今年は5月からすでにヘルパンギーナの報告数が増加しており、川崎市における令和5年第21週（5月22日～28日）の定点当たり報告数は1.68人でした。

いずれの疾患も飛沫感染や接触感染により感染するため、手洗い等の予防対策はしっかり行いましょう。

ヘルパンギーナと手足口病の違い

	ヘルパンギーナ	手足口病
感染経路	飛沫感染、接触感染、糞口感染	
潜伏期間	2～4日	3～5日
症状	<ul style="list-style-type: none"> 突然の高熱（38～40℃程度）が1～3日間持続（熱性けいれんを伴う場合もあり） 咽頭痛 のどの奥に小水疱と小さな白い潰瘍が多発 	<ul style="list-style-type: none"> 軽度の発熱 手のひらや足の裏などに発赤を伴う小さな水疱が多発 舌や口の中の粘膜にも口内炎が多発
予後	比較的良好だが、まれに髄膜炎、心筋炎、脳炎等を合併する場合もあり	

